

経営者のための学校情報

太陽 ASG 拝啓理事長先生

第 216 号 この資料は全部お読みいただいて 2 分です。

今回のテーマ： ソーシャルメディア・リスクについて

ソーシャルメディアとは

インターネットを利用して情報の交換が可能なメディアのことです。日本ではブログや mixi、twitter、Facebook などが代表的なソーシャルメディアサービスとして挙げられます。財団法人インターネット協会が発表したインターネット白書 2012 によると、日本のソーシャルメディア人口は 5,060 万人と推定されます。また、総務省の平成 23 年度版情報通信白書によると、10 代～30 代の 5 割以上が現在何らかのソーシャルメディアを利用しています。今後はスマートフォンの普及により、更にソーシャルメディアの浸透が進むと予想されています。誰もがリアルタイムで自由にかつ簡単に情報を発信・共有することが可能であることがソーシャルメディアの最大の特徴です。

ソーシャルメディアを利用することのメリット

このようにソーシャルメディアの利用が普及した最大の理由は、人と人との繋がりを広めたり、知識や思考、感情等を共有することによって問題を解決したり出来るようになったことが挙げられます。ソーシャルメディアを利用することにより、疎遠になっていた友人と再び交流するようになった…などという体験は今日では珍しくありません。

ソーシャルメディアを利用することのリスクと対応策

ソーシャルメディアではプライバシーを完全に守ることはできません。書込みをしたその瞬間から、自分が発信した情報は誰かしの目に留まります。無用なトラブルを防ぐためにも、下記のリスクを踏まえてソーシャルメディアを利用することが必要です。

個人情報を悪用されるリスク	インターネット上に個人情報を書込んだ場合、部分的に閲覧を制限することはできません。また、いったんネット上に掲載された情報は完全に消去することがほぼ不可能と言っても過言ではありません。他人が自分の情報を共有した時点で、もはやその情報は自分のコントロール下から外れてしまいます。何気なく自分の写真をアップロードしたばかりに、その写真が悪用され、他人が自分になりすまして発言する…といった危険もあります。
発言が無制限に拡散されるリスク	発言が自分の意図しない形で広がり、取返しのつかない事態を引起してしまうリスクがあります。学生や教職員が何気なく発言したものが瞬く間に広がり、本人の実名や所属している学校、住所までもが突き止められインターネット上に掲載される…といったケースも珍しくありません。 利用に当たっては、 ・職務上知り得た内容をむやみに書込まない ・他人を誹謗中傷しない ・反道徳的に受取れる内容を書込まない 等の、基本的な心構えが求められます。

お見逃しなく！

今日の情報化時代においては、本人の預り知らない情報や内部者しか知り得ない情報が独り歩きしています。学校法人においても、ソーシャルメディア等の利用に関するガイドラインを作成し、教職員や学生へ注意を喚起することが望まれます。